



艸居では京都にて、個展「ジェニファー・リー： セラミックとドローイング」を開催いたします。2023年5月11日にオープンいたします。



ジェニファー・リー 《淡色、斑点の跡、斑点のあるオリーブ色、傾いた層》

2022、手びねり彩色炻器、H35.1 x W18.4 x D18.1cm

艸居 〒605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町 381-2
Sokyo Gallery 381-2 Motomachi, Higashiyama-ku, Kyoto, Japan 605-0089
T: 075-746-4456 F: 075-746-4457 info@gallery-sokyo.jp www.gallery-sokyo.jp



京都 2023年4月25日一艸居（本店）では、個展「ジェニファー・リー：セラミックとドローイング」を開催いたします。2015年と2018年に引き続き弊廊では3度目の個展となります。2018年には、第2回口エベ・クラフト・プライズ賞を受賞し、国際的にもより大きな認識と評価を獲得しました。2021年には陶芸への貢献が認められ大英帝国勲章（OBE）を受章し、ルーシー・リー、ハンス・コパーに続くイギリスを代表するスタジオポタリーとしての確固たる位置付けをされている作家です。

静けさの中に、凜とした佇まいを感じさせるリーの作品は、釉薬を使わず、酸化金属を土に混合するという独自の手法で、独特の色と洗練された形が融合するスタイルを確立させました。リーは様々な旅行先で集めた酸化物と土を、すぐには使わずスタジオに数十年寝かせます。それは、リーの記憶と共に熟成され、焼成後の壺の仕上がりに変化をもたらします。手びねりで成形された器には複数の土が使われており、部分ごとに色が混じり合い、複雑なグラデーションや濃淡のある斑点がさまざまな表情を作り出します。これらはリーの長年の経験やテストピースに基づいており、酸化物がどう反応するのか、配合や配分を計算した化学反応の結果によるものです。そして、僅かな接地面が絶妙のバランスで器を支え、淵の物静かな傾斜は彼女の作品を強く印象付けています。

土を焼成することで瞬間を切り取り、作品に普遍性を持たせることができるとリーは言います。また、作品の記録として制作後に描かれるドローイングは、制作の記憶を留めながらも、見る者を思索の世界へ導きます。

リーは1994年の初来日以降、日本との関わりを深めてきました。2009年には21_21 DESIGN SIGHTで開催されたイッセイミヤケによる展覧会「U-Tsu-Wa」展に出展。インスタレーションは建築家の安藤忠雄が手がけ、リーの器が大きな水面に幻想的に浮かべられました。その他、ささま国際陶芸祭への招聘（2013年）、滋賀県陶芸の森での3度の招聘滞在制作（2014、2015、2018年）や、益子国際工芸交流事業での招聘滞在制作（2019年）などがあります。本展では、手びねりの器10点、湯呑み20点、陶板1点、ドローイング5点を展示いたします。是非ともこの貴重な機会にご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ジェニファー・リー

1956年スコットランド・アバディーンシャー生まれ。1975-79年エジンバラ・カレッジ・オ



ブ・アート（スコットランド）で陶芸とタペストリーを学び、1980-83年ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（ロンドン）にて陶芸を専攻。カレッジ在学時代から個展を開催し、1985年

にヴィクトリア&アルバート美術館（ロンドン）に作品を購入される。1994年「ギャラリー小柳」（東京）にて日本で作品を初展示。2009年には三宅一生氏がディレクションされた「U-Tsu-Wa」展にも招かれる。2018年第2回ロエベ・クラフト・プライズを受賞、2021年大英帝国勲章（OBE）を受章する。作品は、大英博物館（ロンドン）、ヴィクトリア&アルバート美術館（ロンドン）、スウェーデン国立美術館（ストックホルム）、ロサンゼルス・カウンティ美術館（ロサンゼルス）、ミネアポリス美術館（ミネアポリス）、メトロポリタン美術館（ニューヨーク）、滋賀県立陶芸の森（滋賀）益子陶芸美術館（栃木）、兵庫陶芸美術館（兵庫）など世界の様々な国のパブリックコレクションに収蔵されている。

出展作品（一部）



ジェニファー・リー 《Blue, dark base, haloed olive traces, granite band, tilted》 2021、手びねり彩色炆器、H24.1 × W13.4 × D13 cm



ジェニファー・リー 《Pale, vanishing traces, dark speckled base, flashing》 2022、手びねり彩色炆器、H12.3 × W19 × D18.7 cm



ジェニファー・リー 《Mashiko 34-19》
2019、轆轤成形炻器、H5.5 × W5 × D4.8 cm



ジェニファー・リー 《JL 928(Dark metallic, haloes angled rust ring, traces, tilted shelf)》
2023、鉛筆、ファブリアーノ紙、H50.5 × W38.5cm

ジェニファー・リー： セラミックとドローイング
内覧会：2023年5月10日（水）16:00 - 18:00
会期：2023年5月11日（木） - 8月30日（水）
京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町 381-2 にて

掲載用、写真の貸出などご質問がございましたら下記までご連絡頂けますと幸いです。

プレス担当：金田幸

〒605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町 381-2

info@gallery-sokyo.jp / 075-746-4456

艸居 〒605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町 381-2
Sokyo Gallery 381-2 Motomachi, Higashiyama-ku, Kyoto, Japan 605-0089
T: 075-746-4456 F: 075-746-4457 info@gallery-sokyo.jp www.gallery-sokyo.jp